

愛媛県立図書館利用案内

★本を借りるとき★

- 1.カウンターで「利用カード」を作りましょう。
 - ・愛媛県在住・在学の方は、だれでもカードを作ることができます。
 - ・本人の住所確認ができるもの（生徒手帳や保険証など）が必要です。
- 2.本は、**5冊まで3週間**借りられます。
 - ・カウンターに、借りたい本とカードを出してください。

★本を返すとき★

- 1.返す本をカウンターに出してください。（カードはいりません。）
 - ・次の予約が入っていない場合、延長ができます。
- 2.図書館が閉まっているときは、玄関外の返却ポストに入れてください。

★本を探すとき★

- 1.図書館の検索用コンピュータで探すことができます。（書名や著者名で検索できます。）
- 2.インターネットや携帯電話から探すこともできます。
 - ※分からないときには、カウンターでたずねてください。

★本を予約するとき★

- 1.予約カードに必要事項を記入して、カウンターに出してください。
- 2.パスワードを登録すると、インターネットや携帯電話から予約することもできます。 ※パスワードの登録は、カウンターで申請してください。

愛媛県立図書館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内
TEL:089-941-1441(代) FAX:089-941-1454
<https://www.ehimetosyokan.jp>

★開館時間★(火～金) 9:40～19:00
(土日・祝日)9:40～18:00
(子ども読書室は17:00まで)

★休館日★ 月曜(祝日の場合は直後の平日)、館内整理日(月末、
年末年始、特別整理期間(3月中10日以内で館長が定める日))

携帯サイト <https://www.ehimetosyokan.jp/winj/mobileopac/top.do>
スマートフォンサイト <https://www.ehimetosyokan.jp/winj/sp/top.do>



愛媛県立図書館 YAコーナー

YAつうしん

Vol. 63 2019. 12

★YAコーナー展示★12月～1月

読むってかっこいい

～あの人の読んだ本～



★新刊案内★

- ☆『まなの本棚』芦田 愛菜／著 小学館
- ☆『いきもので読む、日本の神話』平藤 喜久子／著 東洋館出版社
- ☆『ダイエット幻想 やせること、愛されること』
磯野 真穂／著 筑摩書房
- ☆『恐竜博士のめまぐるしくも愉快的な日常』真鍋 真／著 ブックマン社
- ☆『心を強くする 「世界一のメンタル」50のルール』
サーシャ・バイン／著、高見 浩／訳 飛鳥新社
- ☆『自分で考え、自分で書くためのゆかいな文章教室』
今野 真二／著 河出書房新社
- ☆『いのち短し、踊れよ男子』安倍 雄太郎／著 小学館
- ☆『愛なき世界』三浦 しをん／著 中央公論新社
- ☆『カザアナ』森 絵都／著 朝日新聞出版
- ☆『江戸っ子漱石先生からの手紙 一〇〇年後のきみへ』
渡邊 文幸／著 理論社



読むってかっこいい

～あの人の読んだ本～

2019. 11. 30～2020. 1. 30

中川 大志 さん
が、読みました。

『宇宙への秘密の鍵』

ルーシー・ホーキング、スティーヴン・ホーキング／作
さくま ゆみこ／訳 岩崎書店

「小学生で初めて読んだ時は衝撃を受けました。」
星の誕生やブラックホールについて、知識を学んでいけるのが
楽しい、と語る中川さん。ホーキング博士とその娘が描く、
宇宙の冒険物語。

参考:ダ・ヴィンチ2018.4号「あの人と本の話」



菅田 将暉 さん
が、読みました。

『第2図書係補佐』

又吉 直樹／著 幻冬舎

「エピソードがどれも面白くて笑えるし、時に切なかつたりもする。
なんとも言えない神秘的な力が宿った一冊」と菅田さん。
又吉さんのことが気になっていた菅田さんが、本屋で見かけて
思わず手にしたのが、この本でした。

参考:ダ・ヴィンチ2013.10号「あの人と本の話」



長濱 ねる さん
が、読みました。

『星やどりの声』

朝井 リョウ／著 角川書店

読書好きの長濱さん。物語の舞台である海辺の町は、
「五島列島で過ごした幼少期とリンク」するそう。作者が紡ぐ
言葉に引き込まれ、その比喩表現が身体に染み込んでくる、
と話します。純喫茶「星やどり」を営む家族の物語。

参考:ダ・ヴィンチ2016.9号「あの人と本の話」



山本 美月 さん
が、読みました。

『赤い蠟燭と人魚』

小川 未明／文 酒井 駒子／絵 偕成社

山本さんが子どもの頃、眠る前に母親が聞かせてくれた
お話の中で1番好きだった物語。絵本は、大人になってから
出会いました。絵がイメージそのもので、これだ！と思った
そう。「登場人物がみんな愚かで欲深くて人間っぽい」と
山本さんが話す、小川未明の名作をこの機会にぜひ。

参考:ダ・ヴィンチ2016.10号「映画『少女』W対談 PART1 本田翼×山本美月」



吉沢 亮 さん
が、読みました。

『銃』 中村 文則／著 新潮社

中村氏の作品をほぼ読破した吉沢さんが、彼の原点に
立ち返ろうと手に取ったのが、デビュー作の『銃』。「描か
れる心情のエネルギーがすごい」、「主人公の行動から
心理を読み解くことも面白さのひとつ」と、語ります。
銃を持った青年が、それに魅せられていく心象と運命を描く。

参考:ダ・ヴィンチ2016.4号「あの人と本の話」



あの大人気俳優や歌手は、こんな本を読んでいた！

雑誌「ダ・ヴィンチ」の記事から、
有名なあの人が読んだ本を紹介します。



他に、竹内涼真さんの読んだ『心を整える。』、星野源さんの読んだ
『本と鍵の季節』、坂口健太郎さんの読んだ『聖の青春』、小松奈菜さん
の読んだ『未来ちゃん』などを展示しています。

メールでもご質問やご意見を受け付けます。

アドレスは、ya@libnet.ehimetosyokan.jp
(件名に「YAメールレファレンス」と入れてください。)

★お名前、連絡先メールアドレスも忘れずに入力してください。